

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

事業NO 107

事業名	青少年相談員設置事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	5	基本方策	⑩多様な主体による取組の推進と連携					
事業内容	地域の青少年健全育成のリーダー的存在として、青少年健全育成活動、非行防止、安全防止活動等多岐にわたる活動を行っている青少年相談員の活動の充実及び資質や意欲の向上を図る。									
当初予算額(千円)	H30年度	25,833	R元年度	22,305	R2年度	22,395	R3年度	25,172	R4年度	
決算額(千円)		24,658		20,809		20,381				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

青少年相談員と青少年がスポーツやレクリエーション等を、県内11地区でそれぞれ計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、6地区が代替えにより実施した。また、市町村における青少年相談員活動を支援し、54,603人の青少年が地域において実施する行事等に参加した。(昨年度比146,255人減。15市町で子供を集めての事業中止)青少年相談員活動への意欲や資質向上を目的とした、「課題研修会」は県内11地区ごとに計画したが、7地区が中止し、4地区でオンライン等を利用し、実施し44名(昨年度707名減)の相談員が参加した。また、委嘱2年目に行う全体会は令和3年度に延期となった。

(2)事業の成果

県内11地区、54市町村がそれぞれ地域の実態やニーズに合った活動や、青少年を主体としたつどい大会の企画をした。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の計画が大幅に変更になった。
【事業例】
 ・千羽鶴(万羽鶴)
 ・地元の小中学校での消毒作業
 ・ダンス動画を募集し、つなぎ合わせてユーチューブにアップする。
 新型コロナウイルス感染症に対応し、各地区で様々な取り組みが行われた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

青少年人口が減少しているが、青少年の健全育成は地域にとって欠かせないものである。相談員の担い手不足により、第21期(平成31年4月から令和4年3月までの任期)は、定数を確保できない自治体が多くなっている。相談員の確保は喫緊の課題である。令和4年の第21期委嘱に向け、青少年相談員の周知活動を市町村活動の充実に向け、各地区連絡協議会役員が情報共有を図っている。また、地区ごとの研修、他地区交流の促進、地域への活動の周知を図る必要がある。
 感染症拡大防止等により、著しく活動を制限せざるを得ない状況ではあるが、地域の宝である青少年が健全に成長するために、創意工夫して活動できるよう推進する。また、そのような活動事例をHPに掲載するだけでなく、全体会などで一人ひとりの相談員にも周知していく。

○参考

関連指標	[青少年育成活動の推進] 青少年相談員が地域において実施する取組への青少年の参加者数					目標	増加を視野に入れ 160,000人以上 継続
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	164,233人	165,607人	166,324人	200,858人	54,603人		

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

事業NO	112
------	-----

事業名	青少年指導者育成事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	5	基本方策	⑩多様な主体による取組の推進と連携					
事業内容	県内各地域で実施する青少年健全育成のスキル向上のための研修会等に対して、青少年活動に携わってきた視点でのノウハウを持った専門職員又は外部講師等をコーディネートして派遣する。									
当初予算額(千円)	H30年度	920	R元年度	937	R2年度	936	R3年度	936	R4年度	
決算額(千円)	H30年度	920	R元年度	936	R2年度	936	R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、県内市町村及び青少年育成団体等が実施する、青少年指導者向けの研修会に対して、4件の講師派遣を行った。(実際は14件の依頼があったが、10件がコロナウイルス等の影響により中止となった。) 研修会等には、延べ164人の青少年指導者が参加した。

(2)事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> 県域での青少年育成活動の実績を生かして、適切な講師や専門職員をコーディネートすることができた。 専門職員による研修会等は、青少年の指導者育成の一層の充実を図る機会となった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> 県内での活用を促進するため、市町村のほか、地域の青少年団体等に更に周知する必要がある。 引き続き研修会等へ専門の講師を派遣するとともに、市町村や地域振興事務所と連携し、事業の周知を図っていく。 コロナ禍においも、研修会等へ講師や専門職員をコーディネートできる旨の周知の仕方について、受託団体等と連携しながら検討していく。
--

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--